

伊勢湾台風の経験を教訓に 愛知県内で最も早い田植え 早場米「あきたこまち」の田植え始まる！

JAあいち海部管内の弥富市は県下でも有数の水田地帯であり、昭和34年の伊勢湾台風で特に大きな被害を受けた地域です。この時の教訓から台風の時期までに収穫を行えるよう早期栽培に取り組み、県下でいち早く田植えが始まります。

弥富地域農業機械銀行受託部会

部会長：古江真人

部会員数：12名

栽培面積：410.8 ha

栽培地域：愛知県弥富市（鍋田地区）

栽培品種：あいちのかおり、コシヒカリ、
あきたこまち

※数値は令和4年度実績

早場米「あきたこまち」

4月頃に田植えが始まり、いちばん暑い8月上旬に収穫。中旬から出荷を行います。一般的な新米より2ヶ月早い収穫と出荷になります。

伊勢湾台風

1959年、昭和34年9月26日土曜日の夜に上陸し、紀伊半島から東海地方を中心にほぼ全国にわたって甚大な被害をもたらしました。飛島村・弥富市での被害が大きく、台風が過ぎ去った後もこの地方には、土壌内への海水浸透や津波による一時的な冠水による塩害の被害が続きました。



苗の引き渡しをする職員と生産者

【メディア対応日】

日時：令和6年4月初旬 日程が定まり次第ご連絡させていただきますので事前にお問い合わせください。（令和5年：4月5日、令和4年：4月5日、令和3年：4月3日）

場所：JAあいち海部 弥富市 生産者ほ場

内容：生産者の田植え風景やインタビューなど

【お問合せ先】JAあいち海部企画部企画課（広報担当：藤原）

TEL：0567-28-6760 FAX：0567-28-6655

E-mail：sougoukikaku@ja-aichiama.com HP：http://www.ja-aichiama.com/